

ジムニーJB64,JB74 フィールド&ラゲッジデッキ 取付説明書 1/2

品番：4040-61 適応車種：スズキジムニーJB64,ジムニーシエラJB74

○この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

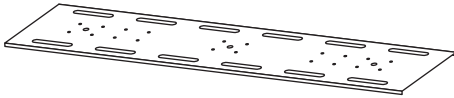
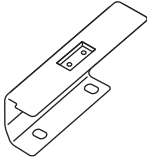
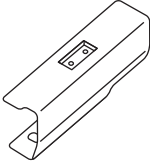



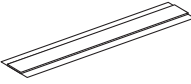
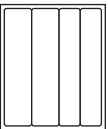
●このたびはAPIO製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。はじめに下の構成部品表を参考に内容の確認を行って下さい。取付に関しては、はじめによく読んでから取付作業に入ってください。部品の使用に際して間違った取り付け、使用方法により発生したクレームはお受けできません。この説明書は大切に保管してください。



注意

※初期走行後は必ず、ボルトナット類の緩み等の点検を行ってください。
※定期的に緩み等の点検を行ってください。

● 構成部品一覧

<input type="checkbox"/>			天板 x1
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	ブラケット左 x1		ブラケット右 x1
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	マグネット x2		M3皿ボルト x4
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	プッシュクリップ x4		幅10mm 長さ100mm 両面テープ x2
<input type="checkbox"/>			
	保護シールシート x1		

● 取付に必要な工具

・プラスドライバー2番

別売の、

・SB STOOL KIT
・API NO PLATE

を取り付ける場合は、
2.5mmの六角レンチ
が必要です。

【作業上の注意】

安全のため作業用手袋を装着して作業して下さい。

【使用上の注意】

アピオ別商品の荷室フラットデッキに比べ板厚を増して強度を出していますが、センタースタンドがないため、車両装着時に人が腰をかけたり、重量物を点で置くことはお辞め下さい。天板の変形の原因となります。

[装着手順]

1



純正ラゲッジボックスのある車両は取り外します。
純正ラゲッジボックスは4箇所クリップ止めされています。蓋を開け、持ち手を上方向に引っ張ると外れます。

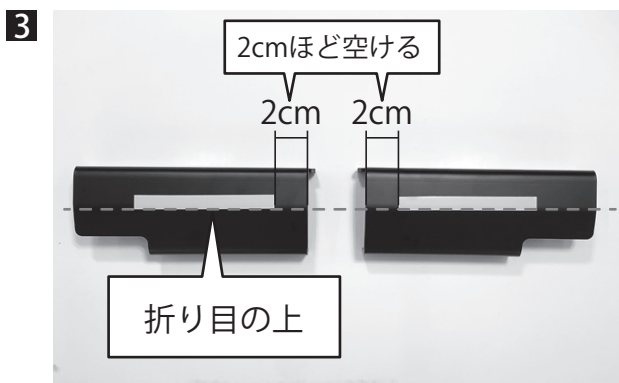
※純正のクリップは再利用しません。

2



M3皿ビスを使用し、ブラケット左右にマグネットを固定します。

工具はプラスドライバーの2番を使用します。



3
 ブラケット左右に両面テープを貼ります。貼り付け箇所は上の写真をご覧ください。

※貼り付けはよく脱脂してから行って下さい。



4
 製品付属のプッシュクリップを使用してブラケット左右を車両に固定します。この時、ブラケットに貼った両面テープの保護用紙を剥がし、ボディに貼り付け固定もして下さい。

※貼り付けはよく脱脂してから行って下さい。



5
 ブラケットの上面と、天板の裏面（マグネットが当たる位置）に保護シールを貼り付けます。ブラケット側は細い方の保護シール、天板側は太い方の保護シールを貼って下さい。



6
 天板を乗せて作業完了です。天板の取り外しと取り付けは製品や車両を傷付けない様に丁寧に行ってください。

Ballistics 製 SB STOOL KIT, SBS RAIL 取付の際のご注意

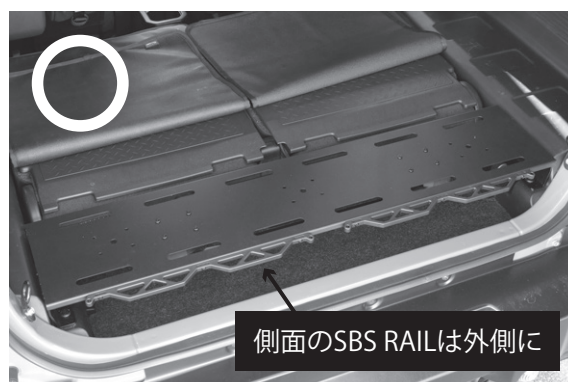
別売のオプションネジセットをお買い求め下さい。
 オプションネジセット (品番: 4040-610)

SB STOOL KITを天板に取り付ける場合は、SB STOOL KIT付属のネジ類は使用できません。アピオから販売されているフィールド&ラゲッジデッキ用オプションネジセットに含まれる、M5xL16mm極低頭ボルトをお使い下さい。

SBS RAILを天板に取り付ける場合は、SBS RAILに含まれるタッピングビスがスケートボードデッキ（木材）用のため、スチール製の弊社製品ではネジ頭が確実に舐めてしまいます。

そのためアピオから販売されているフィールド&ラゲッジデッキ用オプションネジセットに含まれる、M4xL10mmのタッピングビスをお使い下さい。

Ballistics 製 SBS RAIL 取付後のご注意



天板側面にSBS RAILを取り付けた場合は、車両装着時の向きにご注意下さい。

SBS RAIL側がリアゲート側に来る様に取り付けて下さい。シート側に向けてしまうとクライニング稼働時にSBS RAILを破損してしまう可能性がございます。



注意

※初期走行後は必ず、ボルトナット類の緩み等の点検を行ってください。
 ※定期的に緩み等の点検を行ってください。